

2021 年 5 月 12 日

総合内科の入院診療を受けられた患者さんへ

「 発熱疾患での血清可溶性 IL-2 受容体の有用性ならびに 血清フェリチンの有用性に関する検討 」 への協力をお願い

総合内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2004 年 6 月 1 日～2020 年 12 月 31 日の間に、当科に 38 度以上の発熱を認め入院加療を受けられた方

研究期間：倫理審査委員会承認日～2025 年 3 月 31 日

研究目的・方法：

発熱診断において血中可溶性 IL-2 受容体（sIL-2R）、フェリチン測定の有用性を検証します。入院 1 週間以内に 38℃以上の発熱が観察された患者さんの採血で上記マーカーを解析し原因が非常に多岐にわたる発熱疾患の鑑別診断における有用性を検証します。

研究に用いる試料・情報の種類：

一般身体所見：身長、体重

血液検査：白血球数、白血球分画、ヘモグロビン、血小板数

生化学検査：総タンパク、アルブミン、CK、AST、ALT、LDH、 γ GTP、ALP、Cr、UA、BUN、蛋白分画、PCT、 β D グルカン、フェリチン、FBS、HbA1c、CRP、APTT、PTINR、Fib、FDP、D ダイマー、AT3、赤沈、sIL2R

尿検査：比重、蛋白

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 総合内科

電話番号 058-230-6632

氏名：不破雅之

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 総合内科
氏名：森田浩之